

平成29年度 日向市立塩見小学校学校関係者評価書

4段階評価・・・4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

～元気・感謝・夢や希望～

『元気』を全ての基礎として、「子ども」が夢や希望をもつ学校、「教職員」が自信をもって教育する学校、「保護者」が信頼を寄せる学校、「地域社会」が共に見守る学校を目標にして学校経営にあたる。その土台の基に、ふるさとを愛し、自分に自信と誇りをもって、将来に向かって力強く『生き抜いていく力』を身に付けた児童を育成する。

【 総 評 】

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評定	学校評議員評定	学校評議員コメント
育成する たくましく健康な体を	1 家庭と連携しながら生活リズムを整え、基本的生活習慣の定着を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も家庭と連携し「げんきファイル」を活用して「ゲーム0の日」や「家庭での運動」に積極的に取り組んできた。ゲーム0の取組は、守れた児童の割合に向上が見られている。 むし歯治療率は今現在で96%に達している(昨年度の同時期92%)。欠席0の日は31日(1月16日現在)と、インフルエンザの流行等もあり、昨年の同時期に比べ半減している。健康意識への更なる啓発が必要。 課題である柔軟性を高めるため、朝の体操や体育の時間に取り組んだり「ゲーム0の日」に親子で運動に取り組んだり工夫することができた。 栄養教諭が学級に入り給食指導や食に関する学級指導を行ったり、給食の残食調査を行ったりしたことによって、子どもたちの意識が高まった。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 「ゲーム0の日」の取組の感想を親子でよく書けていると思った。先生の返しのコメント欄がシールだけというのがあったので、忙しいだろうがシールだけでなく担任のコメントも時にはあると励みになって良いのではないかな。 子どものゲーム依存が懸念されている状況なので、学校でも携帯等のフィルタリングやゲーム機器の時間制限設定など、子どもの生活改善のために有効な情報があれば積極的に発信していくと良い。 家庭でのタオル引き等の運動は親子のふれあいにもなって良い取組である。
	2 自らの健康意識を高め、元気でたくましい体づくりの習慣化を図ります。				
	3 体力テスト等の結果や個々の体力の実態をもとに、課題となる基礎体力のレベルアップを図ります。				
	4 食に関する教育を計画的に行い、栄養教諭等と連携し、よりよい食習慣の定着を図ります。				
豊かな心を育成する 思いやりと感謝の心をもった	1 いつでも、どこでも誰にでも気持ちのよいあいさつや返事ができる態度を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ・会釈が自分からできる児童が増えた。元気のよい返事にも向上が見られる。 まだ十分とは言えないが、6年生の廊下歩行プロジェクトの取組の成果もあり、校内での廊下歩行には落ち着きが見られ始めている。大きなけがや地域での大きな事故等もなく過ごせているので、今後も気を引き締めて指導に当たっていききたい。 教職員の人権・同和教育に関する職員研修にも力を入れ、教職員の人権意識の向上に努めることができた。 今年度も縦割清掃と無言清掃の徹底、日向ひまわり支援学校や障がい者支援施設「しおみの里」との交流活動等を実施し、公共心や思いやりの心の醸成に取り組んだ。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは全体的によい。すばらしいと思う。先生達もあいさつをさらに頑張ってくれたい。子どもたちの手本にもなるし、来校者に対してあいさつをすることで防犯上も役立つのではないかな。 「ひまわり支援学校」の子どもたちと塩見小の子どもたちとの交流は、外から見ても大変すばらしいものだと感じる。「ひまわり支援学校」との交流は思いやりの心の育成にもつながっているのではないかなと思う。 暑い日も寒い日も雨の日も毎日、安全監視員の活動を続けていくのも大変な苦勞があると思う。保護者も安全監視員さんへの感謝の言葉やあいさつをもっと積極的にかけてよいのではないだろうか。
	2 学校や地域での安全生活の意識を高め、危険予知能力を育成します。				
	3 人権・同和教育の取組を通して望ましい人間関係づくりを図り、自他ともに大切にすることを育成します。				
	4 全教育活動を通して道徳教育の積極的な推進を図り、公共心や思いやりの心を育成します。				
確かな学力の向上を目指させ、	1 個々の学力把握と分析を基に基礎・基本の定着を図り、学力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の中で学力分析を行い、基礎・基本の定着を目指して授業改善やノート指導や自学等家庭学習の指導にも力を入れ、学力向上に努めることができた。 算数科を中心に全職員が一人一研究授業を年4回実施する等、指導方法の工夫・改善に積極的に努めてきた。 図書主任や図書館司書を中心に、図書室の整備や掲示物の工夫、読書祭りの実施等により図書貸出冊数も大きく向上している。 学級通信や参観日の懇談等で家庭学習の進め方や内容について啓発を図ってきた。児童によって個人差があり、個に応じた支援を引き続き継続していく必要がある。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いや考える場の設定、いろいろな体験等を取り入れた学習など、さらに工夫を重ね、児童の学力向上や課題となる思考力の向上に努めて欲しい。 担当の先生方の努力により、貸出冊数が増えるなど、取組の成果が上がっているのは喜ばしい。本を読むことは、学力の基礎となるのでさらに本に親しむ習慣をつけて学力向上につなげてほしい。 本を読んだ後、ミニ感想文を書かせる等の取組を進めることにより思考力や表現力を高めていくと良いのではないかな。
	2 授業のねらいやまとめを明確にし、指導方法の工夫・改善を図り、分かる、できる授業実践に努めます。				
	3 読書活動を充実させ、本への親しみと豊かな表現力の育成に努めます。				
	4 家庭との連携を密にして家庭学習の定着を図り、個に応じた支援の充実を図ります。				
家庭・地域との連携	1 『塩見まちづくり協議会』との連携を深め、家庭や地域と一体となって、児童の健全育成を図りながら、地域に開かれた学校づくりを推進していきます	<ul style="list-style-type: none"> よのなか先生や「塩見まちづくり協議会」、高齢者学級「ひむか大楽」等、地域との連携を図りながら、「日向の大人はみな子どもたちの先生」の合い言葉の如くキャリア教育を効果的に推進することができた。 11月参観日での地域交流活動や運動会での3・4年生「ひょっとこ踊り」への保存会の方の指導等、機会あるごとに地域の方々のご協力をいただきながら、キャリア教育を推進することができた。 学校通信「ひょっとこ」の月1回発行、校長室通信の発行、ホームページの定期的な更新等を通して、学校の様子を保護者や地域の方に積極的に発信することができた。 	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 地域で世代間交流、地域の行事に子どもが参加するとやはり催しが盛り上がる。子どもの参加を促すためにも保護者の地域行事への参加意識を高めていくことが必要である。 地域行事への児童の参加は地区によって、また家庭によっても差があり、二極化が見られる。学校・家庭・地域が連携して地域行事の案内やいろいろな参加の形態を提示していけるとよい。 校長先生を中心に地域の行事等に積極的に顔を出してくださり、子どもたちの励みにもなるので大変有り難かった。
	2 地域に根ざした世代間交流活動を、積極的に展開していきます。				
	3 学校での教育活動の様子を、学校通信やホームページ等で広く発信していきます。				

《次年度の方向性について》

- やはり、まずは学力向上に力を入れて欲しい。さらなる授業改善、読書意欲の向上、家庭と連携した取組、努力に対する先生の励まし等、様々な工夫を通して学力向上を図って欲しい。
- 学校・家庭・地域との連携を強化しながら、地域行事への積極的な参加をさらに促してほしい。
- 塩見っ子の良さである思いやりの心をさらに伸ばしてほしい。